

吉美(金) J P S  
北九州

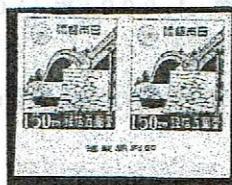
会報  
日本郵趣協会  
北九州支部  
平成30年10月13日  
第343号

新昭和  
第一次

1円50銭 錦帯橋

印刷局銘I版

白紙



I版

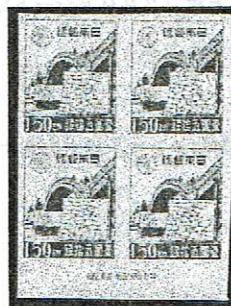


II版

1946.11.20発行

II版セリフなし

EP



I版



II版



日本国銘

灰白紙・縫透し



I版



II版

提供:橋本たねひろ氏

## 第一次新昭和切手 1円50銭の収集

橋本たねひろ

1円50銭「錦帯橋」切手は、書留小包用として昭和21年11月20日発行され、さくらカタログでは昭和透かしと狭透かしの2種に分類されているが、昭和透かしには白紙と灰白紙があるので、单片収集では3種となる。

表紙のとおり、銘版に日本国銘と印刷局銘の2種があり、日本国銘は、灰白紙のみであり、印刷局銘は白紙、灰白紙昭和透かし、灰白紙狭透かしとすべての紙質が存在する。

さらに印刷局銘には、すべての紙質に銘版の「印」第6画にセリフがあるか否かでI版とII版があるので、銘版収集ではこの6種と日本国銘1種合計7種を目標にすることになる。

特に高価なものはないが、この7種を揃えるにはかなり根気を必要とする。

刷色に多少の変化があるが当初は考える必要がないと思う。

それよりは、むしろ定常変種が面白いので、こちらの入手に努力したい。

使用済みを单片では、昭和22年4月1日料金改正後に50銭はがきに加貼したもののが格段に多いため、これからはがしたものがほとんどであるが、読める消印を探すとなるとかなり大変である。

料金別納ブロックや後期の混貼りからはがしたものなどで我慢することも必要であり、エンタイアも50銭はがき加貼や後期の混貼以外の入手は運しかないと思う。